

鉄砲洲神社詩吟 素読論語解説

(平成 25 年 4 月 12 日)

【二〇】子張 問う。士 如何なるをか、斯れ之を達と謂うべきと。子曰く、何ぞや、爾の所謂達とはと。子張 対えて曰く、邦に在りても必ず聞え、家に在りても必ず聞ゆと。子曰く、是れ聞なり。達に非ざるなり。夫れ達なる者は、質 直にして義を好み、言を察して色を觀、慮りて以て人に下る。邦に在りても必ず達し、家に在りても必ず達す。夫れ聞なる者は、色 仁を取りて行 違ふ。之に居りて疑わず。邦に在りても必ず聞え、家に在りても必ず聞ゆと。

子張は二十歳そこそこと若い青年。孔子からみて子張は経験不足で何も物が分からないから色々と説明をしていると感じます。お師匠さんが、右も左も分からない若者に教えているという状況を考えて下さい。

子張が、「どういふことをすれば『達』と人様から言われますか」と尋ねました。孔子から見ると、子張が間違えて達について聞いているのだろうなと思ひ、「お前の達というのはどういふものだろうか」と孔子は反問しました。子張が言うには「国家にとって素晴らしい人間だと名声が聞こえて、家の中にも素晴らしい人間だと周りが認め、そのように噂をする」と答えました。孔子は、「それは『聞』であつて、達ではない。達というのは人様から素晴らしい人間だと認められるようなものではない。噂が噂を呼びといふようなことをあまり氣にはいけなひ。本当の達といふのは、心が素朴で正直な人間である。正義を好むし、人の言葉が分かり、洞察をする。顔色を見て自分自身が良くない行動や事を考えて自分自身の中身を腑に落ちるような心の動き。よく自分の心の中を調べて色々な物事を処理し謙遜して人様に相対するもの。そういう人は国家の中にあれば、その人の誠意が国家に通じるし、家の中にあれば家庭がおさまってくる。達と聞は表面的には似ているけれど、実際のところは違ふ。子張の言う「達」といふのは「聞」であり、聞は「仁」を表面上装っているけれど、実際は仁とは違ふし行為がまるつきり違ふ。必ず自分の考えたことを思い通りに行動し周りも理解してくれる。素晴らしい人物だと考えなさい。国家においても家庭においても、あの人は素晴らしいといふ評判が聞こえてくるといふものといふのだよ」

孔子が「お前は、聞と達を間違えてはいけなひ」と子張をたしなめているところです。

現在にあてはめてみれば、国家を率いる安倍さんは、「達」といふべきか「聞」といふべきかと考えれば良いと思ひます。国家の総理大臣としてどのような言動をとっているか、家庭の中の長として、どのような言動をとっているかと調べて見るとよいでしょう。知らず知らずの内に、仁人と見えるかどうか。「達」なのか「聞」なのか半年・一年間は見続け

る必要があるだろうと思います。

国家のトップとして表面だけをあげつらっているのか、国家のことだけを考えてやろうとしているのか。安倍さんは総理大臣としてこういう事をしたいという信念があるように見えますので、たぶん国家のことを考えているとは思いますが、それが「聞」か「達」なのかというのは見続けないと見えてこない。または参議院の選挙で勝った後の半年間を見ないと何とも言えない。民主党の総理大臣よりは読み取れない状況下にあると感じています。

「聞」は偽物で、「達」は本物と捉えれば、今の安倍さんはどちらでしょうか。野田さんはどうなのだろうか。野田さんは、あと一年経つと評価は変わってくるような気がします。